けの子だよ

2025年7月3日





落ち着きがない子

~~子どもの生活の工夫③~

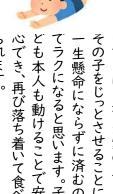


きがない子」についてです。 いる「子どもの生活の工夫」。3回目の今回は「落ち着 工夫と伸ばす言葉がけ』からシリーズでお届けして 田中康雄先生の著書『発達障害の子どもの生活の

◇〈環境〉動いてもいいというルールにする

じっとできるわけではありません。私たちものどが いてもいい」など、一定の範囲内でなら動けるルール で、例えば、食事の場合は、「3口食べたら少し立ち歩 渇いてしかたがないのに、「水を飲んではいけませ 立ち歩いてしまうのは。その子の脳からの、正しい指 ん!」と叱られたら、とてもつらくなります。ですの 示によるものなので、厳しく叱られたからといって、 じっとしていることがとても難しい子どもがいます。 にするほうが、お家の人も、

られます。 心でき、再び落ち着いて食べ ども本人も動けることで安 てラクになると思います。子 その子をじっとさせることに 一生懸命にならずに済むの



◇〈やる気〉先生のアシスタントになってもらう

消す、ドアを開ける・閉める、カーテンを開ける・閉め る、補助用具を運んでもらうなど、先生のアシスタン 役割をしてもらいましょう。例えば、プリントやノー の特別扱いが必要です。授業中に席から離れてもいい トを配る・集める、黒板の文字を消す、電気をつける・ じっとしていることが苦手な子どもにはいい意味で

> ち着いて行動することも増え ち着いてくると思います。 場所になり、気持ちも行動も落 がその子にとって居心地のよい ていきます。そうすると、教室 で、子ども本人も安心でき、落 トをしてもらいます。動けること

◇〈見て解る工夫〉いつ終わるのかを分かりやすく

らないと不安になったり、イライラしたりしますよ をもたせて話しはじめ、「ひとつめは・・・。ふたつめ しょう。「今から3つ、お話をします」と最初に見通し もほど難しいものですので、伝え方を工夫してみま ね)。人の話しをじっと聞くということは、小さな子ど ます(大人でも、あとどれくらいで終わるのかがわか わからなくて、授業中にそわそわしてしまう子もい 今していることが、あとどれくらいで終わるのかが は・・・。それでは、最後のお話

の活動をします。じっとして 終わったら「きちんとお話が いることが難しい子どもにも 聞けてえらかったね!では、 みっつめは・・・です」と続けて 歩いたり体操をしたりしま 身体を動かしましょう。」と、 す。そして、再び席に座って次 有効な方法です。

いきたいと改めて考えさせられました。必見か子 が楽しい園生活を送れるようになるのかを工夫して 田中先生のお話を参考に、どうやったら子どもたち たりすると、注意することが多くなってしまいます。 がら、給食の時間の時、じっと座って食べてくれなかっ わたし自身、ただ叱っても効果がないとわかっていな

